

H18年1月21日

おねがい。

幼稚園でアタマジラミが数例ですが
発見されましたので、皆様にお子様の
頭髪をチェックして下さいますようお願い
します。古い資料ですが、添付いたしますので
御一読下さい。一斉に取り組み、正しい
知識を持つ必要がありますので、御協力
をお願いします。

又胃腸風邪がはやっていますので、手洗
うがいを忘れずにさせて下さい。

国風第一幼稚園

園長 磯野洋子

今も幼児や小学生に発生

——1年中生きてるアタマジラミ——

アタマジラミは生きている。一時は姿を消していたが、1980年ごろ大量発生し、ここ数年も厚生労働省がまとめた相談件数は減っていない。幼児や小学生から見つかることが多く、親がびっくりしてしまうことも多い。専門医は「不潔にしているかどうかとは無関係。誤解せずに治療を」と話す。最近のアタマジラミ事情を探った。

◆ 冬に発生アタマジラミ

愛知県西部の幼稚園では、暮れにツメや耳あかななどを点検する衛生検査で、一部の園児からアタマジラミが見つかった。「夏、プールを使う時の検査で見つかることは多いが、冬は初めて」と同園関係者。注意を呼びかけるため、保護者に駆除方法などを書いたプリントを配った。

最近、自分の娘からアタマジラミを見つけたという主婦は「びっくりしたが、近所には同じ経験をしている人が多い。卵はほこりと見分けがつきにくく、教えてもらって初めて分かった」と話す。

◆ 主に後頭部や耳の後ろの生え際が

アタマジラミの成虫の大きさは2ミリから4ミリで灰白色。毛髪につき、頭皮から血を

吸う。かゆみを感じる人と感じない人がいる。卵は大きき約1ミリで乳白色。ふけなどと違い、引っ張ってもなかなか取れない。主に後頭部や耳の後ろの生え際に産みつける。

遊んでいる時などに髪と髪が直接触れてうつるほか、くしやタオル、寝具、帽子などを介在してうつることもある。ただし、「うつる」とはいても「発しんチフスなどを媒介することがあるコロモジラミと違い、アタマジラミが伝染病を媒介した例はない」と専門家はいう。

駆除用にはフェノトリンの粉剤を使うほか、最近では手軽なシャンプータイプも市販されている。くしを使う時は、目の細かいくしで髪をよくすいて取ることができる。髪はできるだけ短くし、卵のついた髪は切り取る。まくらカバーやシーツは毎日取り替え、必要があれば熱湯で処理する。

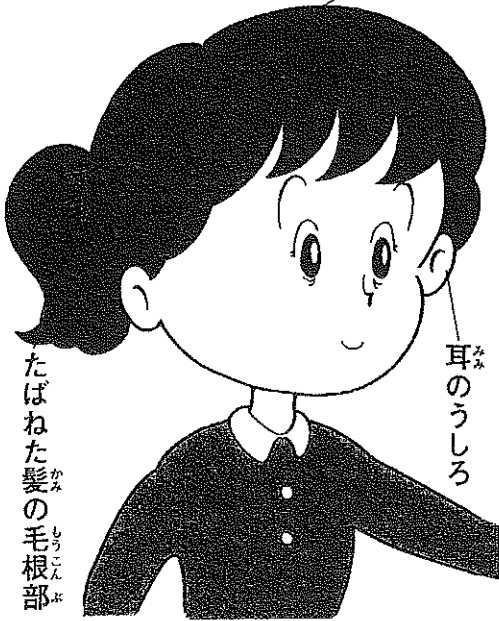
◆ 発生件数は10年間以上横ばい

厚生労働省が各都道府県の保健所に寄せられたアタマジラミに関する相談を集計したところによると、95年度は約1,600件、人数は5,260人に上る。届け出義務がないため、実数はもっと多いとみられる。

アタマジラミは戦中や戦後すぐに多く見ら

アタマジラミの
発生しやすい場所

頭頂部

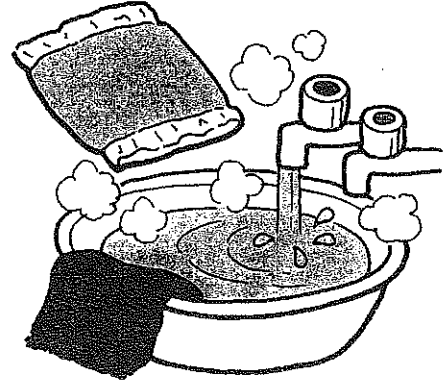


たばねた髪の毛根部

耳のうしろ

● 枕カバーや下着などは熱湯消毒し、タオルや帽子、スカーフなどは共用しない。

70℃で約10分熱湯消毒



れ、DDTなどの殺虫剤で駆除していた。その後姿を消したが、80年から81年にかけて全国で大流行した。

同省が全国の相談件数をまとめ始めた82年度には約2,310件、約23,700人に上った。81年にフェノトリンという成分を使った薬品が発売され、83年度には件数、人数とも半分に。88年度には約390件、約1,900人にまで減った。

しかし、その後増加に転じ、91年度の相談は約1,500件、約6,280人。「以後、ほぼ横ばい」という。東京都内での発生件数も、このところ大きな変化を見せておらず、96年度に275件、519人。「1年を通して発生しており、減る傾向はない」と東京都環境指導課。いずれにしてもここ20年の歴史を見ても、毎年5,000人以上の人が全国で発生している。

◆ 海外から流入？

アタマジラミがなぜ復活したのかは専門家

の間でも意見が分かれるが、海外から持ち込まれたのではないかという説もある。

又、専門家の中には「時期が重なっただけかもしれないが、71年にDDTなど塩素系殺虫剤が禁止された後、アタマジラミが増えた。国際交流が盛んになってきた時期とも重なる」と語る。

◆ 地域ぐるみの取り組み大切

アタマジラミは人から人へうつるもの。不潔であるかどうかは関係なく、洗髪しても卵は落ちない。学校や幼稚園など集団生活でうつることが多いし、また学習塾などで広まる可能性もあるので、見つかったら地域で一斉に取り組み、治療することが重要だ。しかし、不潔だという誤解があると、いじめの対象になりがちなので、正しい知識を持つ必要がある。